

令和8年度 静岡大学人文社会科学部
法学科，法学科（夜間主コース）
社会人選抜（第1期），3年次編入・転入学試験（社会人），
3年次編入・転入学試験（夜間主コース）（社会人）
試験問題

[小論文]

令和7年11月8日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問題用紙（この表紙を除く）	・・・	5枚
解答用紙	・・・	2枚
下書用紙	・・・	2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「，」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい（問1・問2・問3）。

[問題文]

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

出典： 筒井若水『違法の戦争、合法の戦争——国際法ではどう考えるか？』（朝日新聞社、2005年）4-12頁。なお問題作成にあたって、一部を改変した。

注

- 1 たたかい争うこと。
- 2 長幼の序。儒教における「五倫（五つの基本的な道徳的關係）」の一つである年長者と年少者の間の守るべき秩序や序列のこと。

問1 下線部（1）について、戦争が、誰もが「悪」と認めると同時に「善」の一面をもつ「謎の現象」であるというのはどういうことか。本文に即して100字以内で説明しなさい。（20%）

問2 下線部（2）について、なぜアメリカは開戦理由にこだわったのか。本文に即して100字以内で説明しなさい。（20%）

問3 下線部（3）について、戦争が（国際）法によって論じられるかぎり、「合法の戦争」が「違法の戦争」とともに論じられるのはなぜか。本文の内容を踏まえて400字以内で説明しなさい。（60%）

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（社会人選抜）第1期
実施学部・学科（課程）等	人文社会科学部法学科（夜間主コース）
出題のねらい	<p>問1 (1)戦争に悪い面だけでなく良い面があることが述べられていること (2)戦争の良い面の具体的例が挙げられていること</p> <p>問2 (1)力が強い国が警察官の役割を果たすことが述べられていること (2)力が強いだけでは警察官とは限らないということが述べられていること (3)警察官とみなされるためには正義を実行する点が重要であることが指摘されていること</p> <p>問3 以下の点が述べられ論理的に一貫していること (1)戦争が基本的に不法であることが述べられていること (2)国際社会においては平和の戦争ということがあること (3)平和のための戦争は合法の戦争といえること (4)法の役割は社会に平和をもたらすことであること</p>
採点基準	<p>設問1 戦争の良い面と悪い面に関して記述するとともに、具体的な例示が示されている。</p> <p>設問2 力が強い国が警察官の役割を果たす一方で、そのみでは警察官とは限らず、また警察官と捉えられるにあたっては正義の実行が重要であるということが論理的に記述されている。</p> <p>設問3 戦争が原則として不法であるものの、国際社会においては平和のための戦争に訴えることがあり得ることが的確に記述されている。加えて、したがって、例外的に平和のための戦争は合法的な戦争であることが的確に記述されている。社会に平和をもたらすことが法の役割であることが記述される。</p> <p>配点 設問1 20 % 設問2 20 % 設問3 60 %</p>